

名前：

今、インターネットは多く使用され、いろいろな情報は速く広く世界の隅まで届くようになった。だからといって、新聞と雑誌はもう必要がないというのは正しいでしょうか。

昔、テレビが発明されたところ、人々もそう考えた。「これから新聞は消えていくはずだ。」しかし、現実は今でも新聞と雑誌は人々の伝え工具の中に大切な一部分を占めておる。それはなぜだろうか。原因の一つは、その流通の便利性にある。インターネットというのは、やはりコンピューターとA/D/S/Lが欠かせないでしょう。そうすると、コンピューターを買えない人と、A/D/S/Lが繋がらない遠い地方の人にとって、インターネットの良さも無駄になる。新聞と雑誌にはこの制限はない。しかも携帯にもふさわしいし、どこへ行っても気軽に使用できる。

もう一つの問題は、人間性にある。人はよく手に取りやすいものを見おろし、その大切さを忘れる。新聞というものは、実は何千年

前から出ていたものである。昔中国の官員が朝の会議に出る前に、今日議論すべき要点を載る紙は必ず皆の手に届く。会議が終わったあと、その紙もある人によって一般人の中に配布される。こう一見普通の物にも、歴史の因縁が宿る。だが、人々はほとんどこれに重視しない。情報が大量に迫ってくると、その中にある意味、それにもたらされた結果もほぼ関心をももらえない。それなら、情報を伝える意義もなくなってしまうだろう。

新聞と雑誌、いわば伝統的なものが、インターネットのような新しいものが出てくると、必ずしも消える運命を受けなければならないだろう。こういう古いものに新情報をもらうだけでなく、前人がどう歩いた道を味わうのもよいのではないだろうか。